

NEWSLETTER No.70

編集・発行 甲南英文学会事務局
〒658-8501
神戸市東灘区岡本 8-9-1
甲南大学文学部英語英米文学科気付
メール：akimoto@konan-u.ac.jp
ウェブ：<http://www.konan-u.ac.jp/~els>
発行日 2021年7月15日

1 甲南英文学会総会・研究発表会・講演会報告

総会

2020年7月3日（土）午後1時から第37回甲南英文学会総会がオンラインで開催されました。福島彰利会長からの挨拶ののち、同氏を議長に選出し、以下の議題が審議されました。

議題

1 2021年度収支決算報告

会計担当神原由紀子氏による20年度収支決算の報告の後、会計監査担当の浜本隆三氏により決算報告が適正であることが報告されました。特に会員からの質問もなく、承認されました。

2 2021年度予算案

会計担当の神原氏より、20年度予算案について説明があり、異議なく承認されました。

3 投稿規定の改定

編集委員長の岩井学氏より、『甲南英文学』投稿規定の改定の提案がなされました。投稿方法をメールとし、論文の長さもより長いものを許容する改定です。議論の中で、前提とされているNo.35掲載の「投稿規定」じたいが、2018年に改定された版より古いものであることがわかったため、改定については来年度に再度検討することとし、メールでの投稿と、原稿サイズをA5として、Wordファイルに加えてPDFファイルもともに提出する、という方針が確認されました。

報告

1 編集委員会より

編集委員長の岩井氏より、『甲南英文学』No.36はNo.37との合併号として来年度に発行されることが報告されました。

研究発表

[英語学]

- 1 司会：青木奈律乃（甲南大学非常勤講師）
Experimental psycholinguistics in processing coordinated structure:
Ambiguity resolution in the case of a pair, Some × others
泉本健太（甲南大学大学院）

- 2 司会：中谷健太郎（甲南大学）
She to go, and he to follow her: 'tis the best anymore': examining the
syntactic connections between Irish English and Early Modern English
varieties.
Nigel Duffield (Konan University)

[英米文学・文化]

- 1 司会：杉浦裕子（甲南大学）
イギリス小説における乳母の表象
市川亜矢子（甲南大学大学院）
- 2 司会：横山三鶴（同志社大学嘱託講師）
ヴァージニア・ウルフの主治医サヴェッジ医師の矛盾と『ダロウェイ夫人』の
レディ・ブルトンから考えるウルフ像
梅田杏奈（神戸大学大学院）

講演会

司会：中井誠一（島根大学）

ジェイムズが、もし詩を書いたとしたら。。。 Henry James, Cid Corman,
Donald Justice をめぐって

別府恵子（神戸女学院大学名誉教授、松山東雲女子大学名誉教授）

今回は新型コロナウイルス感染症の影響下にあるため、本学会としては初のオンラインでの開催となりましたが、無事すべてのプログラムを開くことができました。会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。

2 編集委員会より

『甲南英文学』36・37 合併号の発行に向けて、論文、研究ノート、書評を募集します。締め切りは11月30日です。多数のご投稿をお待ちしております。

3 事務局より

- ・住所、所属等に変更のある方は、お手数ですが事務局までお知らせください。メールでも構いません。
- ・今年度の会費は、郵送された振替用紙を使用してゆうちょ銀行でお振込みください。

以上